

令和8年3月30日
都市美対策審議会景観審査部会
港湾局

水際線まちづくりにおける 臨港パークの整備について

目 次

1. 事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)
2. 臨港パークの整備経緯について
3. 臨港パークの基本計画について
4. 臨港パークの現状分析
5. 臨港パークの整備方針

【付議理由】

前回の審議会で臨港パークの改修はデザイン調整会議や景観アドバイザーの意見を頂きながら進めていくことにご了承いただきました。その後、審議会でのご意見やデザイン調整会議での審議を踏まえて整備計画を取りまとめましたので報告します。

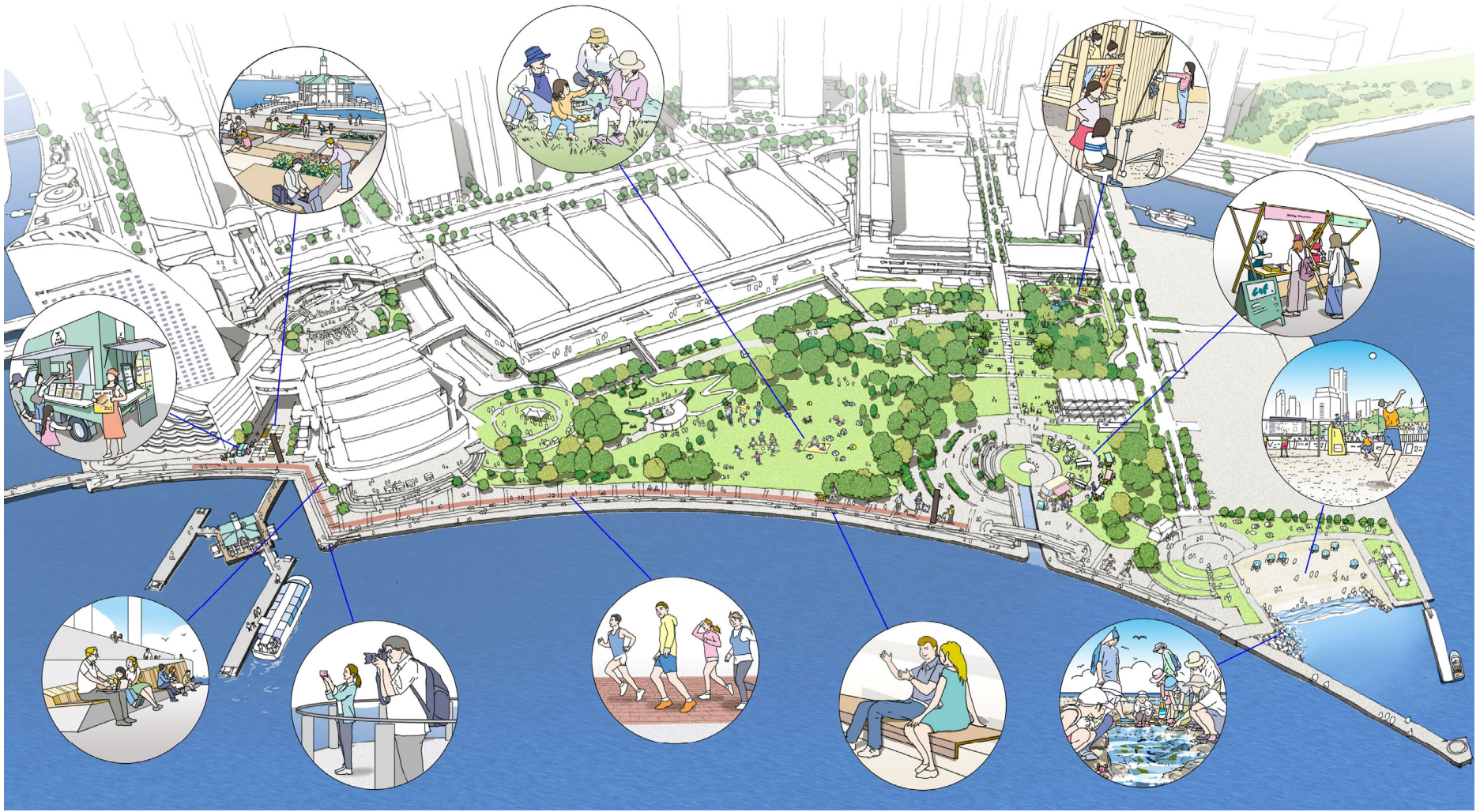
事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)

臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線について、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めます。

『臨港パーク』は、水際線の5つのエリアの1つに位置付けられています。



事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)

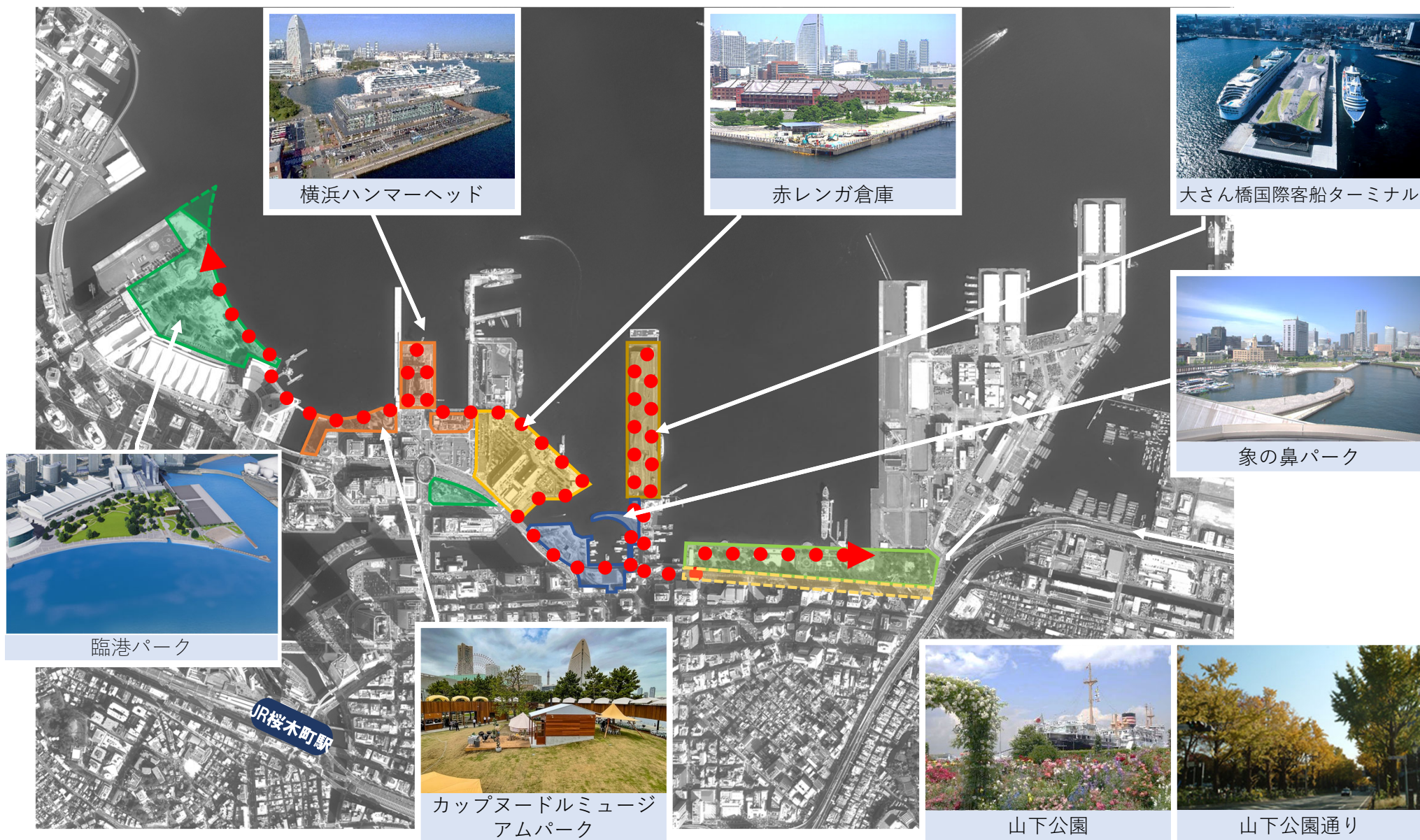


臨港パーク内エリアについて、水際線随一の広さを誇る開放感あふれる緑豊かな場所です。ピクニックやジョギング、犬の散歩など、子どもからシニアまで、多くの市民に親しまれています。

訪れる人々が思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、居心地の良さを高めていくとともに、エリア内にある横浜ティンバーワーフやふかりさん橋などの滞在施設、広々とした芝生広場、美しい海辺の眺望を活かした大規模フェス、花火大会やナイトマーケットといった多彩なイベントなどにより、市民をはじめ、観光客や隣接するMICE施設に訪れた人も惹きつける場所としての価値も高めていきます。日常の憩いと特別な体験が共存するエリアへと進化させていきます。

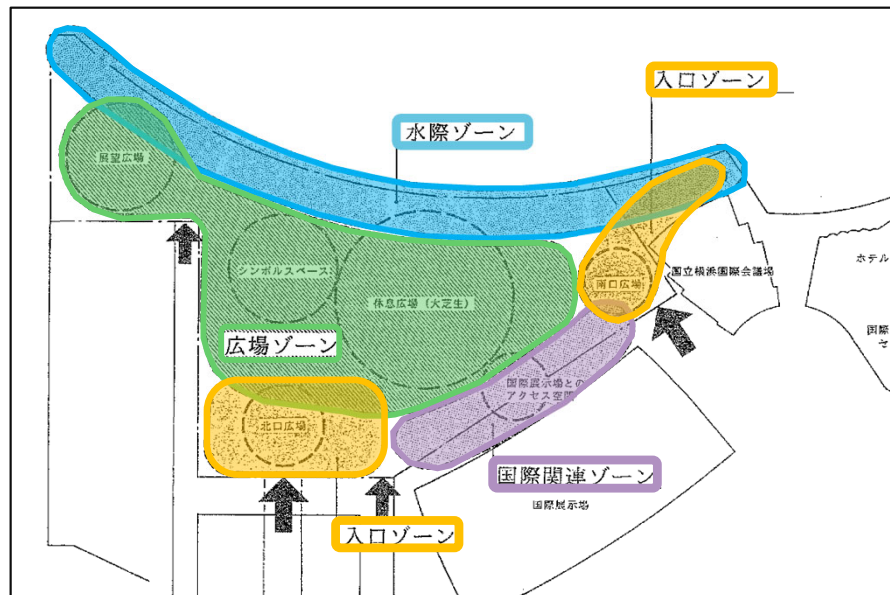
■ 臨港パークの現状分析[水際線→臨港パークへの動線]

水際線は、臨港パークから山下公園までの約5kmがエスプラナードで結ばれている
→ 「臨港パーク」は、水際線の「起点」となっている

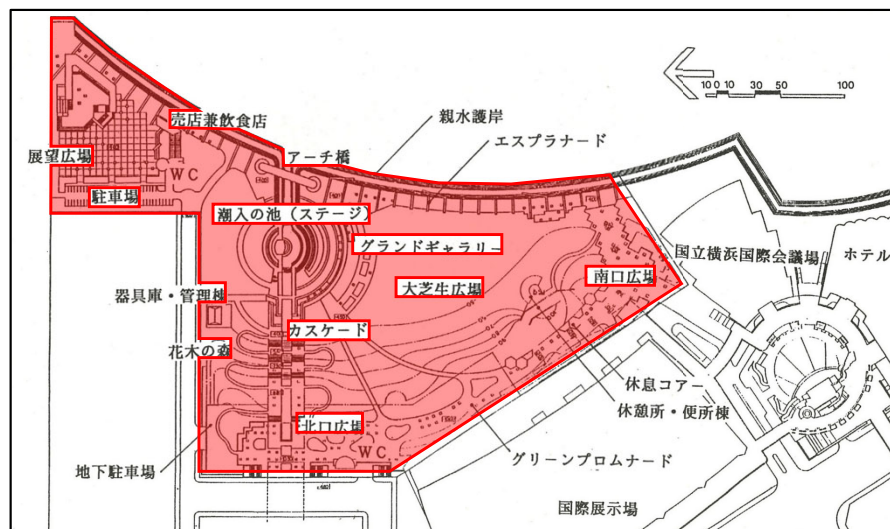


■ 臨港パークの基本計画について

◇臨港パークの基本計画 (MM21臨港パーク(仮称)基本計画策定(昭和58年～平成元年))



ゾーン	基本的な性格
入口ゾーン	・緑地への導入部にふさわしい内外との結節空間を整備するゾーン
水際ゾーン	・内側に湾曲した水際線が新しい景観資源となり、海や港との係わりの中で様々な活動が期待されるゾーン ・直接海に接するゾーンとして親水性の高い空間や施設を整備する
広場ゾーン	・日常の休息、散策やイベント時の利用など多様な利用形態に対応するための広場を整備するゾーン
国際関連ゾーン	・緑地利用者及びコンベンション施設利用者共通の休息空間を整備すると共に、大規模建築に対するスケールギャップを緩和するゾーン



【施設計画の基本的な考え方】

- ・オープンスペースとしての広がりのある空間構成を基調に、海、港に開いた計画地の資質をいかした施設導入と配置とする
- ・質の高い施設デザインを指向するとともに、海、港からの眺めに留意した施設整備を行う
- ・海に近接した緑地として、利用者の安全に十分注意した計画とする
- ・身障者の利用にも対応した施設整備とする
- ・利用者の多様性に対応できるよう、園路に沿ってスポーツ、遊具等の小工作物を整備する

整備にあたり、基本計画時の各エリアの基本的な性格や施設計画に準拠することとする

■ 臨港パークの整備経緯について

◇ 臨港パークは、平成元年(1989年)に横浜博覧会開催時に一部供用を開始し、H24年度から現在の区域で供用しています

【整備経緯】

昭和58年度～61年度	中央地区緑地護岸建設工事
昭和63年度	臨港パーク（親水護岸、潮入の池）整備
平成元年	横浜博覧会開催（一部会場として供用開始）
平成2年度	芝生広場、植栽、親水柵整備
平成5～6年度	休憩棟、便所棟、駐車場整備
平成8～10年度	南口広場整備、園地整備
平成24年度	キング軸接続部整備（暫定）

横浜博覧会時の様子(平成元年)



各エリアの整備状況



■ 臨港パークの現状分析(臨港パークへの動線)

臨港パークへは、主に「キング軸」「クイーン軸」「女神橋」からのアクセスとなっている



■ 臨港パークの現状分析(整備状況)

○植栽

多くの樹木が植えられているが、年数が経過し、樹木が成長したことでエリアの分断感が生まれている。



○親水護岸、エスplanナード

緩やかにカーブする親水護岸は、横浜港を一望できる場所である。舗装は単調であり、改善の余地がある。



○芝生広場

みなとみらい21地区最大の緑地として、大きな芝生広場が広がっている。



○キング軸接続部

みなとへ開く大きなスケール感と美しい芝生が広がっている。暫定整備として2mの園路が整備されているが、軸線が細く、すれ違いが難しい。



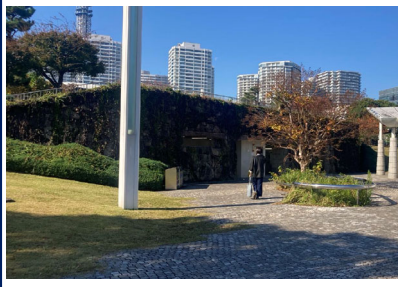
○ビュースポット

臨港パークの端部は、ビュースポットとなっており、写真撮影等が可能な場所である。



○南口トイレ

周辺の植栽などにより、トイレであることがわかりにくく暗い印象となっている。



○カスケード

カスケードとして運用されていない。植栽を配置しているが、空間を生かしていない。



■ 臨港パークの現状分析(利用状況)

開園から30年以上が経ち施設が老朽化しており、より快適で移動しやすい空間づくりや時代にあったニーズが求められている

○カスケード

周辺は、イベント時に多くの人の滞留場所となっている。



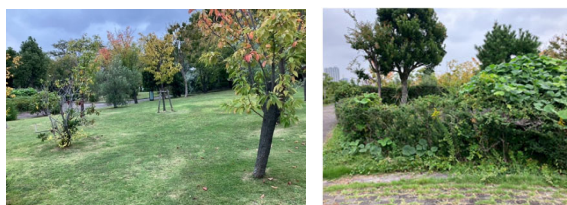
○芝生広場

家族連れなどによるピクニックやイベント会場、花火大会の観客席として利用されている。



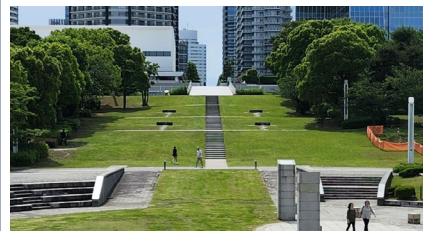
○花木の森

パークの端に位置し、樹木の成長により視認性が悪く、あまり利用されていないエリアとなっている。



○キング軸接続部

ベンチに座って眺望を楽しんでいる。階段が細いため芝生斜面を通行する方が多く見受けられる。



○横浜ティンバーワーフ

カフェ・レクリエーション施設がオープンし賑わいを創出している。



○エスプラナード

ランニングやウォーキングをする人や階段護岸に座って眺望を楽しむ人で賑わっている。



○潮入の池

アーチ橋や周囲の芝生と調和した水辺空間となっており、砂浜では環境学習が行われたり、撮影スポットとなっている。



パシフィコ横浜展示ホール

パシフィコ横浜
ノース

芝生広場

潮入りの池

国立大ホール

市民意見募集(令和7年12月17日～令和8年1月26日)

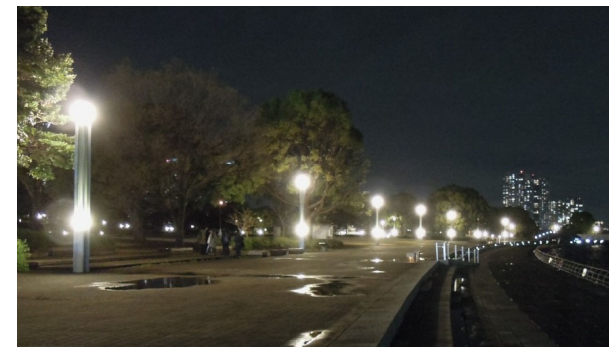
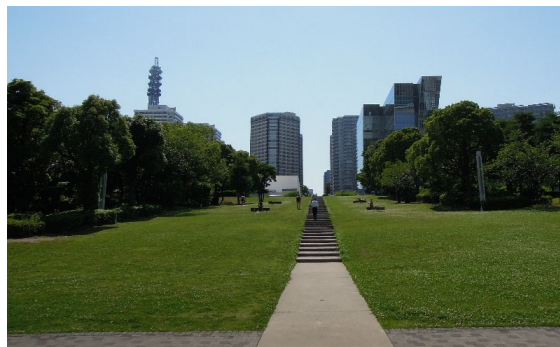
市民意見募集では、「ベビーカー・車いすの移動しやすさ」、「暑熱対策」、「遊具の設置」、「砂浜の整備」などについて、ご意見をいただきました。

いただいた主な意見(抜粋)

- ・車いすやベビーカー等でも移動しやすい歩行者空間にしてほしい。
- ・酷暑や突然の雨をしのげるよう、水際線上に木陰や屋根付きのスペースをつくってほしい。
- ・子どもが外で遊べるスポットが少ないので、遊具の設置はうれしい。
- ・砂浜の整備を推進し、子どもたちが海の生物や自然について体験学習できる場所がほしい。

基本計画に基づく整備

- ・入口ゾーンにあたるキング軸接続部は、暫定整備となっている
- ・園路に沿った遊具等の工作物は設置されていない
- ・単一的な照明が設置されており、海や港からの眺めを効果的に演出できていない



再整備の考え方・・・日常の憩いと特別な体験が共存するエリアへ進化させる

残したいもの

◆ パーク全体

- 1 基本計画のゾーニングの考え方
(入口ゾーン・水際ゾーン、広場ゾーン、国際関連ゾーン)
- 2 水際線随一の広さを誇るあふれる「みどり」



キング軸



芝生広場

3 バイブリッジ・港湾景観など「横浜らしい眺望」



エスプラナード



カスケード、ぶかり栈橋

ビュースポット

変えたいもの (磨きあげるもの)

◆ パーク全体

- 1 暑熱対策(木陰で休める場所の創出)
- 2 海への眺望を楽しむ滞留施設の整備
- 3 水際線の繋がりの強化



低木が生い茂り、木陰が使えない



ベンチ等の滞留出来る場所がない



ベンチ等の滞留出来る場所がない



女神橋→臨港パークへの誘導が弱い

◆ キング軸接続部、カスケード

- ・キング・クイーン軸の玄関口としての設えの整備



キング軸からの軸線が弱い



クイーン軸からの玄関口としては寂しい雰囲気となっている

◆ 南口トイレ

- ・安全・安心な環境としての整備



蔭が生い茂り暗い印象となっている

創りたいもの

◆ 接続デッキ(事業中)

- ・ MICE施設から臨港パークへの誘導強化



◆ 砂浜の整備(事業中)

- ・ 子どもが水と触れ合える砂浜を整備



◆ 遊具の整備

- ・ パーク端にあり周囲が樹木等で囲まれおり他エリアと分断感がある場所に、親子連れが楽しめる空間を創出する



◆ 演出的な照明の整備(別途審議案件)

- ・ 水面に映る光を一体的につなぎ、水際線の輪郭を際立て、海上から見たときの水際線の美しい水景を創出する



■ 臨港パークの 整備方針



整備計画（キング軸接続部）

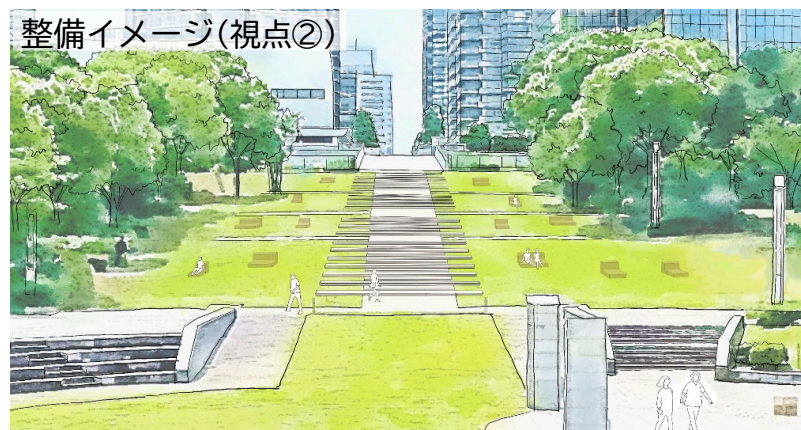
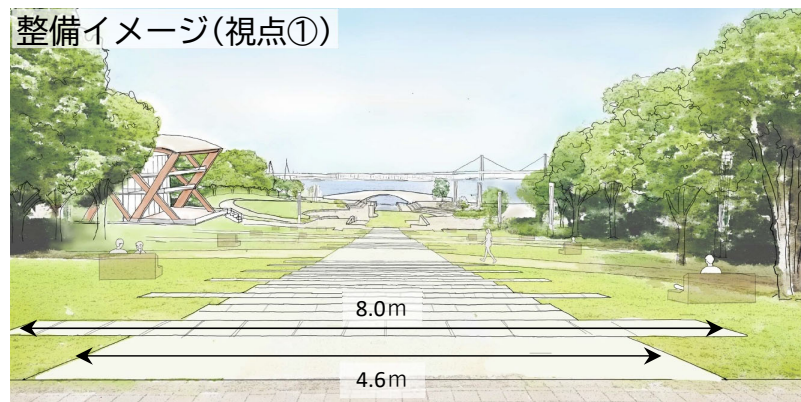


◆ 設計の考え方

- キング軸から水際線へと人々を誘導するため歩行空間(階段)を拡張する
既存(暫定整備)幅員2.0m
→ 幅4.6m(キングモール橋の有効幅員)
幅8.0m(キングモール橋の幅員)
- 整備にあたりオーバースケールにならず、既存の臨港パークに馴染むように緑を確保する
- 階段周辺には、ボラード照明を整備する

◆ 素材及び色彩について

- キング軸の新設する階段とベンチは、潮入の池、アーチ橋、照明灯、キング軸周辺のパシフィコや他建築物等の色に合わせ、白を基調としたデザインとする



日向ベンチ



木陰ベンチ

整備計画（エスプラナード舗装）



◆ 設計の考え方

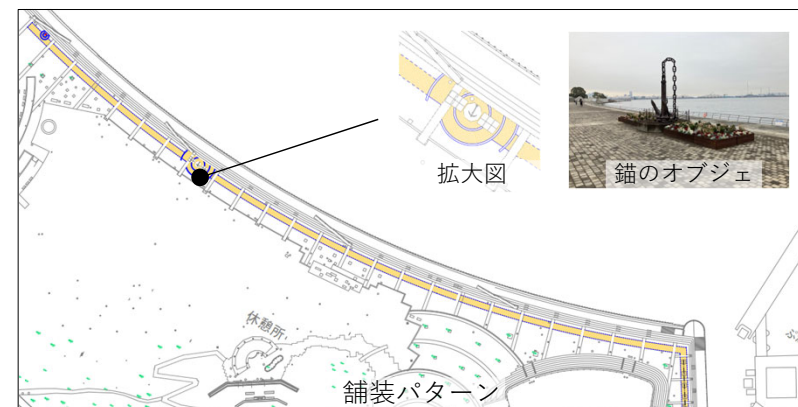
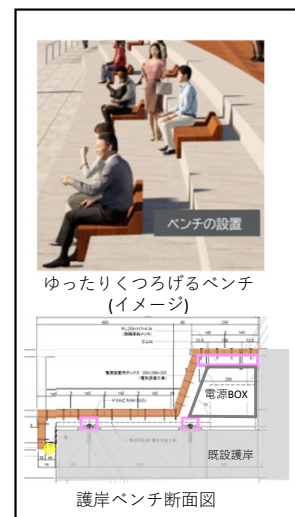
- 現況、単調とした空間が続き、間延びした移動空間となっているため、回遊性の向上として舗装を整備し水際線を引き立てる
- 既存の段差を活用し、憩えるベンチを設置し、ゆったりと海を眺められる滞留空間を創出する
- 横軸部分に御影石が使用されているため、既存の材料を活かしながら舗装の整備を検討する

◆ 素材及び色彩について

- 舗装の線形・材質・色については、既存の舗装との調和や別途検討している案内サインの設置位置、維持管理や経済性含め今後検討していく
- 暑さ対策として遮熱性舗装についても今後検討していく

◆ 試験施工について

- 素材や色を検討するため、試験施工を実施する



整備計画（遊具の整備）

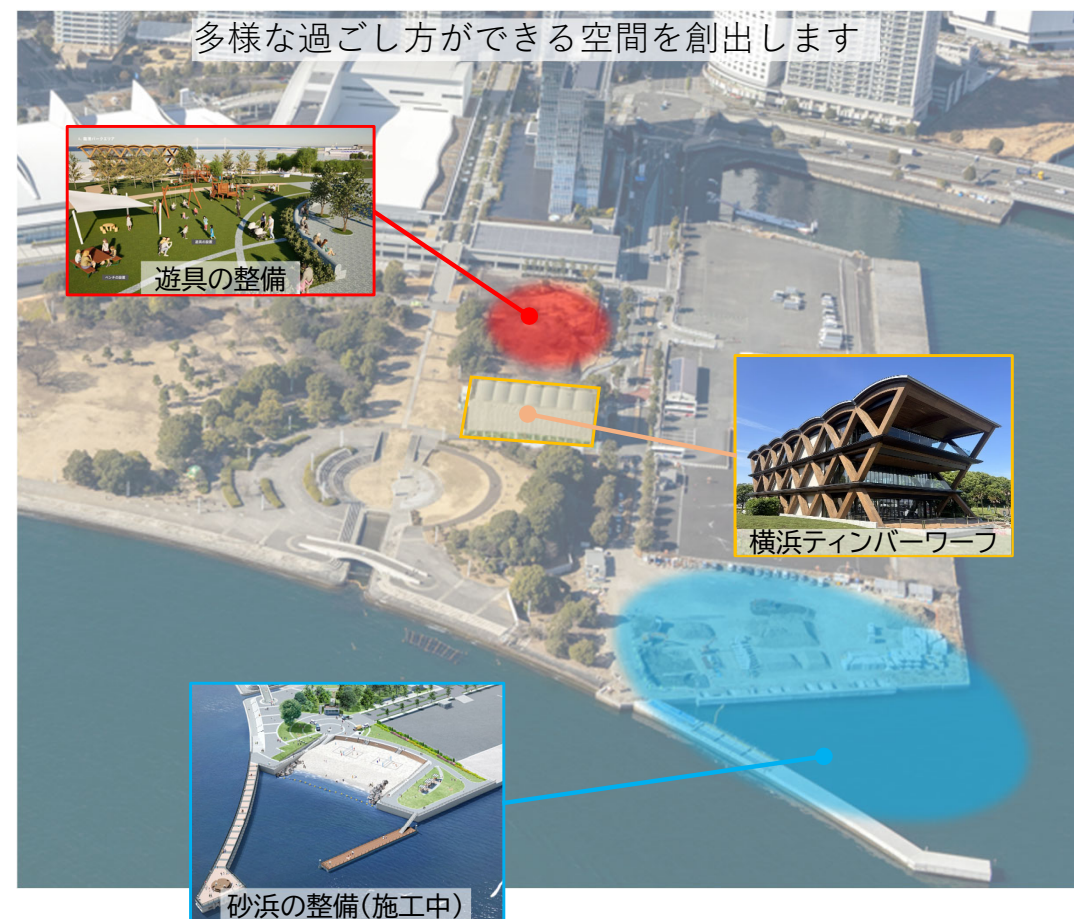


◆ 設計の考え方

- 親子連れの来訪を促す魅力的なコンテンツや体験の不足、長く滞在できる空間となっていないため、遊具やベンチを整備することで、親子連れで楽しめる空間を創出する
- 誰もが楽しめる多様なエリアを整備することで、幅広い世代が多様な過ごし方ができる緑地とする
- 緑地内の回遊性向上として、芝生広場を中心に周辺のエリアを整備することで、緑地内の回遊性の向上を図る

◆ 素材及び色彩について

- 遊具の整備位置や材質については、今後検討していく。インクルーシブ、シンボリックな遊具も含めて、幅広く検討を進めていく



整備計画（ビュースポット・ロングベンチ整備）



◆ 設計の考え方

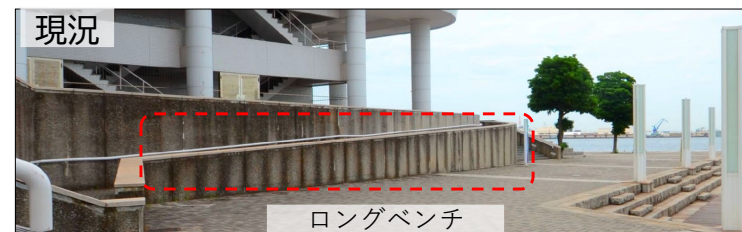
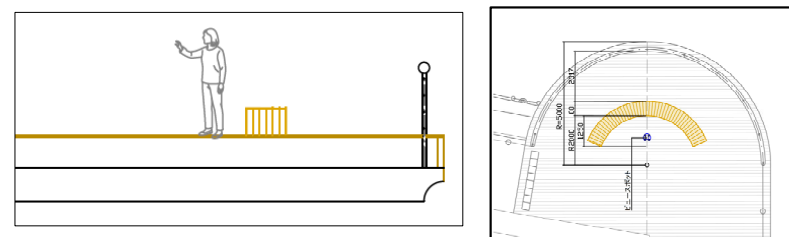
- 女神橋方面からの来訪者には、国立大ホールの先に臨港パークがあることが認識しづらく、行き止まりの印象を与えているため、エリアの繋がり強化として視点場を整備することで、その先へ人々を誘うための仕掛けづくりをする
- 滞留空間の創出として、国立大ホールの既存スロープを生かしたロングベンチを設置し、ゆっくりと海を眺められる空間を創出していく

◆ 素材及び色彩について

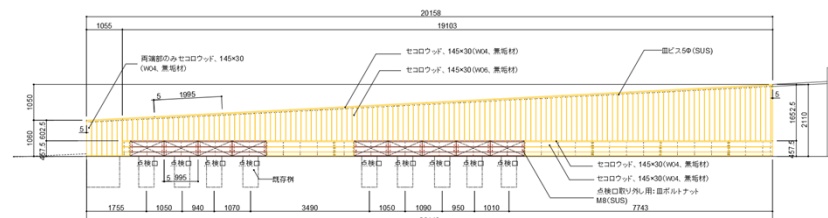
- ビュースポットについては、既設のイペ材と調和がとれた素材、色彩とする。
- ロングベンチは、カスケードとエリアが近く同様の素材とし、面が広いいため、のっぺりとした単調な設えにならないようにする



整備イメージ



整備イメージ



整備計画（カスケード）



◆ 設計の考え方

- クイーン軸と水際線を結ぶ位置にあたるが、臨港パークの玄関口としては寂しい雰囲気となっているため、ベンチや植栽を整備し、カスケード周辺の景観を向上させ、明るく開放的な空間を整備する
- バイブリッジやぶかりさん橋が見える場所であるが、ゆったりと眺められる滞在空間となっていないため、既存の傾斜を活用し、多様な高さで居場所を創出することで居心地の良い空間を創出する

◆ 素材及び色彩について

- 日陰が多いため、玄関口としてふさわしい、明るい色彩とする
- 日陰が多いため、コケやカビ等に対して管理しやすい素材とし、付近のロングベンチと同様の再生木材を使用する



天板イメージ



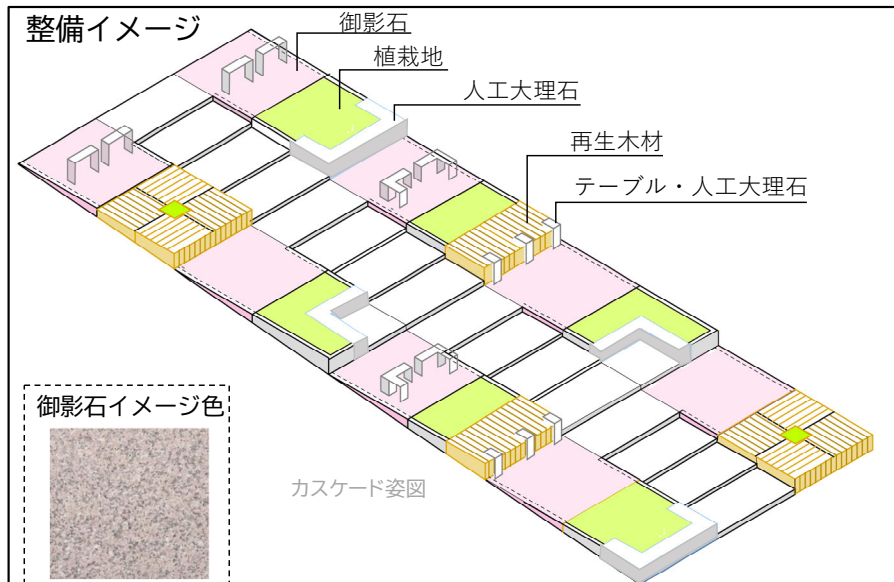
再生木材上のテーブル

※現況は日陰の時間が多く、かなり暗い印象のため、ベンチ等は再生木材のみではなく、人工大理石等の明るく白い素材を部分的に使用する

現況



整備イメージ



整備計画（南口トイレ外構）



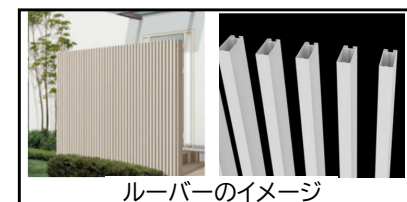
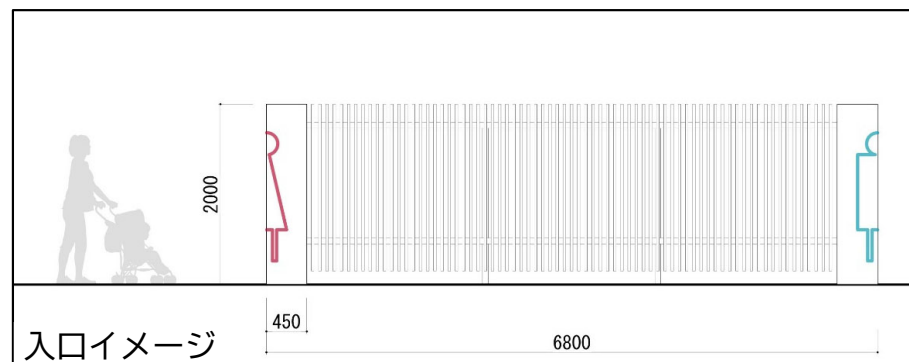
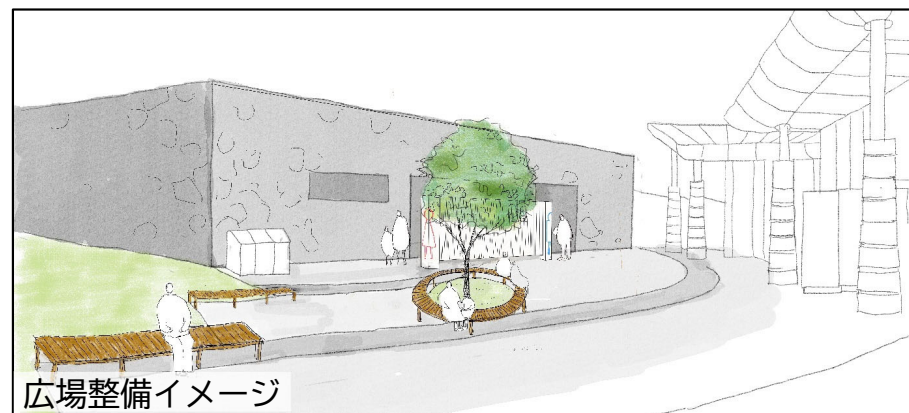
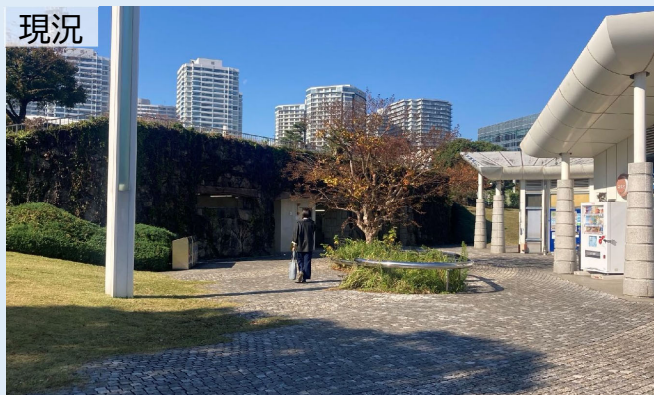
◆ 設計の考え方

- トイレ壁面に蔦が生い茂り、暗い印象となっているため、安全安心な環境の整備として、蔦を撤去し、元の石積みファザードを復活させるとともに低木の撤去、ベンチの設置など、開放的な空間を創出し誰もが安心して利用できるトイレを整備する
- トイレの場所が分かりづらいため、パーテーションを設置し、利用者が認識しやすい場所にサインを設置する

◆ 素材及び色彩について

- 水回りに近い場所のため、衛生的な素材とし、ファニチャーにおいては、滞留空間に馴染む色彩とする

現況



明日をひらく都市

OPEN  PIONEER

YOKOHAMA